

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	4	1	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	1	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	5	0	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

フェイスシートの回覧も含め、ミーティング等で利用される方の情報や注意する、気に掛ける点等、共有をしている。
 家族も困っている事を聞き取り、日頃の様子等伝える事で負担にならないように心掛けている。
 本人、家族の困りごとや解決すべき課題やそれに対する支援方針は入口の段階で本人、家族と共有し明確にすることは出来ている。事業所や職員の都合でのサービスにならないよう、困りごと (ニーズ) を明らかにするようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用開始前に他職員に対して、本人の情報やニーズ、ケアプランについて伝達することができない。
 24 時間での本人の暮らしが見えていない部分が多く、日頃ケアマネージャーや管理者以外のスタッフ家族とのやり取りすることが少ないこともあり掘めていないことが多い。
 利用開始前に職員間でこういった対応をすべきかなど話し合いができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

申し送りをする時間や職員全員に伝える機会が少ない為、業務内容の見直しが必要。
 ご利用者一人ひとりもう少し会話や関わる時間を心掛け信頼関係を築く中でニーズや必要な支援を探るべき。信頼関係を構築していく為のプロセスは人それぞれの手法や技術もあるが、ある程度の水準がクリアできるように研修や勉強会なども必要。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	1	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	5	1	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	1	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	1	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ひもときシートなど活用し、本人の声なき声の理解に努めている。
 ケアプランの中にある本人のニーズを共有しあう事で本人の望んでいる事を知ることができている。
 関わった本人の内容や本人の言動をミーティングで伝えたり、記録に残すようにしている。また気になる点があれば次の対応に活かしている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 個々のケアプランの把握ができていなく、何となくの支援になっている。
 目標の共有が図れていない。実践が次への対応という PDCA サイクルが機能していない。
 日々の記録から読み取り次に活かせるケアとなっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 本人の目標を把握して、理解した上でサービス提供する為に改めてライフサポートプランの目的や考え方について、職員で共通理解を図る。
 目標に沿った具体的な活動、実行計画を話し合う時間や機会を意図的に作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	6	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	2	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	0	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	1	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	4	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の願いや不安に思っていることをお互い共有し、支援のヒントとしている。 自立支援を主眼に置き、世話することだけににならないように実践している。 本人の変化があったとき、特に体調についてはその日のうちに対応を決め、家族や他介護保険事業所へ伝え共有ができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人が今までどんな暮らし方をしてきたのかほとんど把握できていない。個人の気づきで止まってしまっていることや、フェイスシートなどの資料のみで留まってしまっている。支援の根拠となる暮らし方や個人ならではの大切にしてきた形にならない物など興味や関心が薄い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
日々のミーティングや会議での内容について時間の使い方も含め検討をし、本人の過去から現在、未来までをトータルして「暮らし」というものを考えたり、共有する時間を作っていく。またヒントになるような情報は個人だけに留めず、これからの支援に役立つ為に記録や、口頭でも情報の拡散を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	2	5	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	5	1	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	8	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	4	3	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所が関わることで家族や地域との関係が切れないように常に意識し、家族等へ働きかけはしている。また事業が全て担わないようにし、知人、友人、家族や地域との関係の維持向上に努めている。通いの送迎や訪問があるので、その時に家族等お会いするときは、本人も含め話しの耳を傾けるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービスが入らない時間など、どのように生活しているかが把握できていない。特に独居の方の生活は把握が難しく、それに対するアプローチが薄い。ケアプラン等でその方の一日の流れはある程度把握することが出来ているかもしれないが、生活スタイルや地域との関わりまでは分からない。地域の資源が把握できていない。(まだ地域に目を向けることまで辿り着いていない。)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
このコロナ禍のご時世でもある為、地域の方と直接お会いする機会等を設けることは難しいが、梓川の地域特性を知ることや、併設しているコミュニティスペースにイベント開催で来られた方と少しでも話しをする時間や挨拶などでも良いので接点を持てるように努める。ご利用者に対しては、「知る」ことや「情報収集」することの目的を再認識し、チームでの情報共有の強化に努め、それが支援に活かせるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	3	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	4	1	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	0	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所の都合でむやみにサービスを制限することなく、必要なサービスを出せる限り行っている。主軸は家での暮らしなので、訪問回数が多く、通いに無理に來させてはいない。本人の状態変化、特に体調不良の際は柔軟にサービス調整し、暮らしを支えることに努めている。またミーティングで情報共有できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍で地域との交流も少ないのも一つであるが、知識不足や把握不足により地域の資源を有効活用できていない。柔軟に支援というものの、やっぱり人ありきのところもあり、アセスメント不足であったり、暮らしを捉えられていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
スタッフでもう一歩「柔軟な支援とは」を考える必要があり、単純に通い、訪問、宿泊を組み合わせることだけではなく、本人の必要とすることに対し、本人や家族から始まり、本人の資源の理解に努める機会を持つようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	1	2	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	1	5	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	2	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	4	1	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>「誰でも気軽に来れる場所」と謳っているのもあり高齢者のみならず地域住民の方も来れるような場所作りをしている。</p> <p>コロナが落ち着いているときはイベントの開催に合わせ、利用者も全部ではないが参加している。</p> <p>担当者会議を行い、ケアマネージャー中心に細めに連絡をとったり同行訪問など本人の状態共有している。</p> <p>自治体や包括の会議、研修に積極的に参加している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナ禍でもある為、外部との交流が行えないことと、この場所の認知が薄い。</p> <p>コミュニティスペースの活動に来てもらえているが特定の方が多い。(敷居が高いことや認知が低い)</p> <p>事業所自らが、地域に出掛けることが少なく、地域行事に参加も出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域の取り組みや、団体等の活動やイベントなど何があるのか不明である為、地域の回覧板など職員全員が目を通す。管理者やケアマネージャーのみならずスタッフ全員が地域に目を向け、地域の課題や良い点にも気づけるように、運営推進会議内でも地域の話題や課題、困りごとなどが議題に出るようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

7. 運営

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	4	3	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	0	2	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	2	3	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	3	1	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること さんぽみちの利用者以外のことも民生委員から相談を受けたりすることがある。 月に 1 度、職員会議を行っている所以他職員に伝える事柄は報告し対応についても決め、本人、家族へもフィードバックしている。 地域の集いとしてコミュニティスペースのアピールができている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域に発信する取り組みが出来ていない。(事業所の特色や小規模多機能の特徴など) 地域に溶け込むまでに到達していない為、地域から意見をもらうことが少ない。運営推進会議もコロナにより書面でのやりとりも多く、地域協働での取り組みは遠い域にある。また職員間でも「地域」について語ることもない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 運営推進会議ではさんぽみちのことだけで無く、地域の困りごとなども議論できるようにする。 運営推進会議の議事録や内容を不参加職員に伝えていないので議事録回覧や会議等で伝え、さんぽみち利用者以外にも目を向けられるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	2	3	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	3	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	3	4	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	2	3	3	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 法人内研修での参加や、各事業所開催での研修にも参加可能な職員は参加している。 特段大きな事故は現在のところないが、事故に関しては会議、ミーティング等で話し合いができている。 サービスについて必要な分を精査し、介護度等で回数を減らしたり制限することはしていない。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 何が危険なのか、何に気を付ければ良いか、など個々でも気づきの差が大きくヒヤリハット報告が格段に少ない。介護事故の未然防止という点での職員間での研修が行えていない。 職場内研修の企画が少ない。また、現場職員が研修に希望することも少なくスキルアップに望めていない。 研修参加できても他職員に共有する時間がしっかり取れていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 事故や未然に防ぐ予防に関する意見が多い為、ヒヤリハット報告を日頃から出す習慣を作る。またヒヤリハットに対して予防策が講じられるようすること。リスクマネジメントの研修会も事業所内、若しくは外部等で参加が出来るように組み込む。 研修に関しては、管理者から情報提供をし、希望するものに参加できる体制を作っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 25 日 (18 : 30 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 森・小原・山本・田仲・二ノ口
黒崎・平林・島田・小林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	0	0	0	9
②	虐待は行われていない	9	0	0	0	9
③	プライバシーが守られている	7	2	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	0	0	4	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	2	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
どんな障害があっても人と関わるということを忘れず、拘束（スピーチロック、ドラッグロック、フィジカルロック）に当たるようなことはしていない。不適切だと思われることに対しては個々での指導をしている。個人情報は鍵付き書庫で保管をし、必要時以外持ち出しはしないようにしている。日々の声かけにもプライバシーに関わることは他利用者に聞かれないように小声で話す、場所を選ぶなどの配慮ができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
身体拘束に当たる方が現在まで居ないことも理由にあるが、身体拘束の要件や記録用紙が不十分。人権やプライバシーに関わる教育や研修の機会がない。 トイレへの声かけが声のトーンが大きくプライバシーに欠けていることがある。 成年後見制度が必要な方が現在いないが、成年後見制度の理解が職員によって大きくバラつきがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
個人情報の取り扱いについて、事務所、フロアでも外部から目につく場所に置かないようにする、特に利用者名が乗っているタイムスケジュールなどは保管場所を定め、表にして置きっぱなしにしないようにする。トイレへの誘導、声かけは周りを見て、他人に聞かれないよう小声でお誘いをする。プライバシー、人権、成年後見制度は必要に応じて学ぶ機会（研修も含め）を作る。	